

●香川県告示第187号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第8条第1項の規定に基づく特定施設の構造等の変更の許可の申請があったので、同条第3項において準用する同法第5条第4項の規定によりその概要を次のとおり告示する。

なお、この特定施設の構造等を変更することが環境に及ぼす影響についての調査の結果に基づく事前評価に関する事項を記載した書面を次のとおり縦覧に供する。

平成19年4月3日

香川県知事 真 鍋 武 紀

1 申請の概要

(1)申請者の住所及び名称並びに代表者の氏名

丸亀市綾歌町岡田上1579番地1
 四国フーズ株式会社 代表取締役 加藤 哲一

(2)事業場の所在地及び名称

丸亀市綾歌町岡田上1579番地1
 四国フーズ株式会社

(3)変更しようとする事項の内容

工場の操業時間の延長による特定施設の使用方法の変更、汚水等の処理の方法の変更（廃水処理施設の増設）、排出水の量の変更

(4)特定施設に関する事項

種	類	畜産食料品製造業の用に供する原料処理施設	
能	力	①粉砕機1,500 kg/h 2基、②圧搾機300 kg/h 1基 ③裁断機200 kg/h 2基	
工 期 等	工事着手予定年月日	既設	
	工事完成予定年月日	既設	
	使用開始予定年月日	排水処理施設増設後	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		(変更前)連続7時間使用 (変更後)連続8時間使用	
排出さ れる汚 水等の 汚染状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6～8	6～8
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	4,000	4,500
	化学的酸素要求量 (mg/l)	1,500	2,000
	浮遊物質 (mg/l)	400	500
	窒素含有量 (mg/l)	50	60
	りん含有量 (mg/l)	10	15
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		①(変更前)0.2(変更後)0.3 ②(変更前)2.6(変更後)4.4 ③(変更前)0.2(変更後)0.3	①(変更前)0.2(変更後)0.3 ②(変更前)2.6(変更後)4.4 ③(変更前)0.2(変更後)0.3

種	類	畜産食料品製造業の用に供する洗浄施設	
能	力	洗浄機100 L 1基	
工 期 等	工事着手予定年月日	既設	
	工事完成予定年月日	既設	
	使用開始予定年月日	排水処理施設増設後	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		(変更前)連続3時間使用 (変更後)連続6時間使用	
排出さ れる汚 水等の 汚染状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6～8	6～8
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	(変更前)1,000(変更後)800	(変更前)1,200(変更後)1,000
	化学的酸素要求量 (mg/l)	400	500
	浮遊物質 (mg/l)	(変更前)700(変更後)500	(変更前)900(変更後)700
	窒素含有量 (mg/l)	20	30
	りん含有量 (mg/l)	10	20
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		(変更前)18(変更後)28	(変更前)19(変更後)35

種	類	畜産食料品製造業の用に供する原料処理施設①② 畜産食料品製造業の用に供する洗浄施設③	
能	力	①皮剥機60 kg/h 1基、②裁断機200 kg/h 1基 ③洗浄水槽250 L 8基	
工 期 等	工事着手予定年月日	既設	
	工事完成予定年月日	既設	
	使用開始予定年月日	排水処理施設増設後	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		(変更前)連続3時間使用 (変更後)連続4時間使用	
排出さ れる汚 水等の 汚染状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6～8	6～8
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	1,000	1,200
	化学的酸素要求量 (mg/l)	1,200	1,500
	浮遊物質 (mg/l)	800	1,500
	窒素含有量 (mg/l)	50	60
	りん含有量 (mg/l)	20	30
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		①(変更前)2.0(変更後)3.0 ②(変更前)0.5(変更後)0.8 ③(変更前)1.5(変更後)2.0	①(変更前)2.0(変更後)3.0 ②(変更前)1.0(変更後)1.8 ③(変更前)2.0(変更後)3.2

種	類	畜産食料品製造業の用に供する洗浄施設	
能	力	コンテナ洗浄機1,200 L 1基	
工 期 等	工事着手予定年月日	既設	
	工事完成予定年月日	既設	
	使用開始予定年月日	排水処理施設増設後	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		(変更前)連続2時間使用 (変更後)連続4時間使用	
排出さ れる汚 水等の 汚染状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6~8	6~8
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	5	10
	化学的酸素要求量 (mg/l)	5	10
	浮遊物質 量 (mg/l)	10	20
	窒素含有量 (mg/l)	2	3
	りん含有量 (mg/l)	1	2
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		(変更前) 3 (変更後) 6	(変更前) 5 (変更後) 10

種	類	畜産食料品製造業の用に供する洗浄施設	
能	力	①洗浄水槽250 L 1基、②洗浄水槽450 L 2基 ③洗浄水槽350 L 1基	
工 期 等	工事着手予定年月日	既設	
	工事完成予定年月日	既設	
	使用開始予定年月日	排水処理施設増設後	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		(変更前)連続2時間使用 (変更後)連続4時間使用	
排出さ れる汚 水等の 汚染状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6~8	6~8
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	(変更前)300(変更後)250	(変更前)500(変更後)400
	化学的酸素要求量 (mg/l)	(変更前)300(変更後)250	(変更前)400(変更後)350
	浮遊物質 量 (mg/l)	(変更前)200(変更後)150	(変更前)300(変更後)250
	窒素含有量 (mg/l)	10	20
	りん含有量 (mg/l)	5	5
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		①(変更前)2.0(変更後)4.0 ②(変更前)2.0(変更後)4.0 ③(変更前)2.0(変更後)4.0	①(変更前)2.0(変更後)4.0 ②(変更前)2.0(変更後)4.0 ③(変更前)2.0(変更後)4.0

種	類	畜産食料品製造業の用に供する原料処理施設①②③
---	---	-------------------------

		畜産食料品製造業の用に供する湯煮施設④⑤⑥	
能	力	①ミキサー60 L 1基、②混合攪拌機600 L 3基 ③ミキサー650 L 1基、④攪拌釜400 L 1基 ⑤攪拌釜500 L 1基、⑥攪拌釜600 L 2基	
工 期 等	工事着手予定年月日	既設	
	工事完成予定年月日	既設	
	使用開始予定年月日	排水処理施設増設後	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		(変更前)連続4時間使用 (変更後)連続6時間使用	
排出さ れる汚 水等の 汚染状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6~8	6~8
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	(変更前)500(変更後)400	(変更前)800(変更後)600
	化学的酸素要求量 (mg/l)	(変更前)500(変更後)400	(変更前)800(変更後)600
	浮遊物質 量 (mg/l)	(変更前)100(変更後)70	(変更前)200(変更後)150
	窒素含有量 (mg/l)	(変更前)10(変更後)8	(変更前)20(変更後)16
	りん含有量 (mg/l)	(変更前)5(変更後)3	(変更前)5(変更後)4
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		①(変更前)0.4(変更後)0.8 ②(変更前)0.4(変更後)0.8 ③(変更前)2.0(変更後)4.0 ④(変更前)0.4(変更後)0.8 ⑤(変更前)0.4(変更後)0.8 ⑥(変更前)0.4(変更後)0.8	①(変更前)0.4(変更後)0.8 ②(変更前)0.4(変更後)0.8 ③(変更前)3.0(変更後)6.0 ④(変更前)0.4(変更後)0.8 ⑤(変更前)0.4(変更後)0.8 ⑥(変更前)0.4(変更後)0.8

種 類		畜産食料品製造業の用に供する洗浄施設	
能	力	①高压温水洗浄機230 L/h 1基 ②高压温水洗浄機700 L/h 1基 ③高压温水洗浄機800 L/h 1基 ④高压洗浄機250 L/h 1基	
工 期 等	工事着手予定年月日	既設	
	工事完成予定年月日	既設	
	使用開始予定年月日	排水処理施設増設後	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		(変更前)連続2時間使用 (変更後)連続4時間使用	
排出さ れる汚 水等の 汚染状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6~8	6~8
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	(変更前)1,000(変更後)800	(変更前)1,200(変更後)1,000
	化学的酸素要求量	(変更前)400(変更後)350	(変更前)500(変更後)450

	(mg/l)		
	浮遊物質 (mg/l)	(変更前) 700 (変更後) 500	(変更前) 900 (変更後) 700
	窒素含有量 (mg/l)	(変更前) 20 (変更後) 15	(変更前) 30 (変更後) 25
	りん含有量 (mg/l)	(変更前) 10 (変更後) 8	(変更前) 20 (変更後) 15
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		①(変更前) 0.5 (変更後) 1.0 ②(変更前) 1.5 (変更後) 3.0 ③(変更前) 1.5 (変更後) 3.0 ④(変更前) 0.5 (変更後) 1.0	①(変更前) 0.5 (変更後) 1.0 ②(変更前) 1.5 (変更後) 3.0 ③(変更前) 1.5 (変更後) 3.0 ④(変更前) 0.5 (変更後) 1.0

種	類	畜産食料品製造業の用に供する原料処理施設①②③ 畜産食料品製造業の用に供する湯煮施設④	
能	力	①冷凍フリーザー—600 kg/h 1基 ②冷凍フリーザー—700 kg/h 1基 ③冷凍フリーザー—1,000 kg/h 1基 ④オープン400 kg/h 1基	
工 期 等	工事着手予定年月日	既設	
	工事完成予定年月日	既設	
	使用開始予定年月日	排水処理施設増設後	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		(変更前)連続7時間使用 (変更後)連続8時間使用	
排出さ れる汚 水等の 汚染状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6～8	6～8
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	(変更前) 800 (変更後) 700	(変更前) 900 (変更後) 800
	化学的酸素要求量 (mg/l)	(変更前) 300 (変更後) 250	(変更前) 400 (変更後) 350
	浮遊物質 (mg/l)	(変更前) 100 (変更後) 80	(変更前) 200 (変更後) 180
	窒素含有量 (mg/l)	(変更前) 10 (変更後) 8	(変更前) 20 (変更後) 18
	りん含有量 (mg/l)	(変更前) 5 (変更後) 4	(変更前) 5 (変更後) 4
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		①(変更前) 4.0 (変更後) 5.0 ②(変更前) 2.0 (変更後) 3.0 ③(変更前) 2.0 (変更後) 3.0 ④(変更前) 5.0 (変更後) 7.0	①(変更前) 5.0 (変更後) 6.0 ②(変更前) 2.0 (変更後) 3.0 ③(変更前) 2.0 (変更後) 3.0 ④(変更前) 6.0 (変更後) 8.0

(5) 汚水等の処理施設に関する事項

種	類	排水処理施設
能	力	(変更前) 90m ³ /日 (変更後) 150m ³ /日
汚水等の処理方式		凝集加圧浮上+活性汚泥
工 期 等	工事着手予定年月日	許可日
	工事完成予定年月日	着手日より2月
	使用開始予定年月日	完成の翌日

使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		連続24時間使用			
処理前及び処理後の汚染状態	項目	処理前		処理後	
		通常	最大	通常	最大
	水素イオン濃度	6~8	6~8	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	(変更前)1000 (変更後)800	(変更前)1200 (変更前)1000	20	30
	化学的酸素要求量 (mg/l)	450	600	20	30
	浮遊物質 (mg/l)	500	700	40	50
	窒素含有量 (mg/l)	30	30	(変更前)25 (変更後)22	(変更前)25 (変更後)22
	りん含有量 (mg/l)	10	15	(変更前)4.5 (変更後)2.6	(変更前)4.5 (変更後)2.6
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (mg/l)	300	400	15	20
	排出される汚水等の量 (m ³ /日)	(変更前)80 (変更前)120	(変更前)90 (変更前)150	(変更前)80 (変更前)120	(変更前)90 (変更前)150

(6) 排水水の汚染状態及び量

排水水の汚染状態	区分 項目	第1排水口	
		通常	最大
	水素イオン濃度	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	20	30
	化学的酸素要求量 (mg/l)	20	30
	浮遊物質 (mg/l)	40	50
	窒素含有量 (mg/l)	(変更前)25(変更後)22	(変更前)25(変更後)22
	りん含有量 (mg/l)	(変更前)4.5(変更後)2.6	(変更前)4.5(変更後)2.6
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (mg/l)	15	20
	大腸菌群数 (個/cm ³)	1,000	3,000
	排水水の量 (m ³ /日)	(変更前)80(変更後)120	(変更前)90(変更後)150

他に、排水口が19箇所（雨水専用）ある。

2 縦覧の期間及び場所

(1) 期間

平成19年4月3日から同月24日まで

(2) 場所

香川県環境森林部環境管理課

丸亀市生活環境部環境課